

# キムヒョンスさんと私

## 積極的な人間

グループ番号：H  
グエンティタンフーン  
7513019

### 1. 第一印象

キムヒョンスさんは積極的な人間だと思っていました。最初に会ったとき、キムヒョンスさんは笑顔で、「こんにちは」と私たちに挨拶してくれました。自己紹介の時も自分のことについて詳しく話してくれました。次回にとこへ行くか、散歩する計画も彼は積極的に参加してくれました。そして、彼はユーモアのセンスを持っている人だと思いました。彼はグループの私たちを何回も笑わせました。彼の部屋のこと、勉強のこと、日本人の友達のことを彼は面白く話してくれました。それに加えて、彼は優しい人だと思いました。キムさんの部屋に尋ねたとき、彼は韓国の美味しい料理を作ってくれました。本当に美味しかったです。その後、私たちは韓国のラーメンをいただきました。彼は昔から元々大人しい人だったそうですが、キムさんは文化交流のために、せっかく日本をはじめ、外国に来たので、もっと明るくしないと勉強のことも、アルバイトのことも、人間関係のことも順調に進めないと思ったり、彼は自分自身の日本語能力も高めたりしたいので、彼は大変で頑張って、明るくしていました。

### 2. 特に聞きたいテーマ 「日本に来た時の感想」

私はキムヒョンスさんが日本に来た時の感想について質問すると決めていました。なぜかという、私も留学生なので、留学生同士として、彼は日本に来た時の感想を私に共感するかと知りたいからです。私は日本に来る前、日本に来た後、感想や不安なことがいっぱいあります。だから、彼が日本に来た時の感想というテーマを決定しました。

### 3. 話し合いの結果

#### 3.1 6月7日の話し合い

私たちは楽しみに大学の食堂で話し合いました。非常に楽しかったです。様々のことについて語り合いました。学校のこと、日本についての感想、将来の夢、仕事のことをお互いに自分の考え方について話し合いました。その時、キムさんはいろいろなことを教えてくれました。彼は知り合いの店でアルバイトをしているそうです。最初に日本語が全然喋れなかったのど、困りました。今にはだんだん慣れて、大丈夫になりました。彼は店長が優しくて、ちょっと甘えそうにしてもらったので、楽しくていい雰囲気働けたと言いました。今まで、居酒屋さんで働くことには楽しいことがないと思ったことがある私は彼の話を聞いて、自分が見直す必要があると思います。ところで、キムさんは子供のころから、日本語の先生になろうと思ったそうです。そのため、彼は日本に留学することを決心しました。そして、「キムさんは外国語教育の大学に入学したらいいです。しかし、一年くらい、大学で学習して、韓国で日本語がまだ普及さ

れていないし、今こそ日本語の時代ではないと気づきました。それで、彼は日本語になるという夢をあきらめました。しかし、彼は軍隊にいたとき、ちょうど日本に来る機械を手に入りました。その時、日本では地震と津波の災害があって、放射線の悪影響を与えていたそうです。彼は日本に来るか、韓国に残るかをよく悩んできました。結局、日本に来ると決めました。キムさんは機会があったからこそ、せつかく日本語を学んだし、日本文化も交流したいし、日本語の先生になりたいかと思って、取りあえず日本に行ってみた方がいいと考えました。彼にとって、今の時代ではやりたいことより、出来ることを実現した方が良くないと言いました。いい考えだと思いますが、私にとって、自分がやりたいことをみつけたら、きちんとやれば良いと思っています。自分のできることをやれば、いつか後悔するかもしれませんが、今なら、自分の時代、自分の青春なので、頑張って、全力で進めば良いと思っています。無理なことをやるわけではなく、自分の限りにやりたいことを現実させようと私が考えています。しかし、彼の話聞いて、私は感動したことがたくさんあります。彼は日本での放射線の危機を知って、親に反対されても、日本に来るといえることを感動しました。私なら、絶対に日本に来ないと思います。私は親に心配させたくないからです。私はやりたいことがあっても、自分の限り（周りの人に傷ういつけたくない）にやりたいと思います。それでも、キムさんは勇気を出して、きちんと日本に来たのは素晴らしいと思って、彼のことを尊敬すべきだと思います。それだけではなく、自分にも頑張らないといけなないと考えました。

### 3.2 6月20日の話し合い

私は元々キムヒョンスさんの将来にやりたいことに注目しましたが、キムさんと話し合っ、段々彼の日本についての感想を知りたかったので、テーマを変更しました。私は彼の感覚を共感するのかわを調べたいので、いろいろ聞いてみました。私は日本に来る前に不安なことがいっぱいでした。まずは私の母国が途上国なので、経済も社会もまだ発展している一方、日本は先進国なので、非常に発展しています。それで、ベトナム人は考え方が違うので、日本人に差別されるのかわを心配しました。そして、私の日本語能力がまだ低いので、上手に話せるのかわと不安なことがあります。また、日本の物価がとても高いので、家族からの仕送りが足りるかどうかわを心配です。私は子供のころから元気ではない人ですから、日本に来て、環境が変わって元気に生きられることも心配しています。なお、私の家族は6人家族で、私は4人兄弟です。一番上のお姉さんは結婚して、家族に離れて遠いところに住んでいるし、二番目のお姉さんと私は日本に住んでいて、結局、私の家族は今ただ、三人で住んでいます。だから、年をとった親のことに面倒を見てくれる人がいないと不安のことがいっぱいあります。しかし、キムさんは私と違って、日本に来る前に不安のことが全然なしでした。彼は日本に来たばかりの時も予想とおりに言っていました、日本に来た一か月後、ちょっと困ったことがあります。それは日本語をしゃべれないことらしいです。アルバイト先の人たちにも話しかけにくいし、話しかけても、日本人の友達と先生たちもわからない状況が起きました。その時が大変

だったそうです。次は文化が少し違うことです。韓国では道路に駐車しても構いませんが、日本では道路に駐車すれば、一回目は警告を受けて、二回目からは罰金される可能性があるらしいです。そして、道にゴミを捨てられないことです。また、思ったより、日本の寿司が美味しくてたまりませんでした。最後は日本の情勢の化粧が濃いと思いましたけれど、本当にスッピンとか薄くしか化粧しません。

#### 4. まとめ

キムさんによって、あれはいい経験でした。しかし、彼はあの日々を乗り越えて、憧れる今のキムさんがここにいます。津以来日々を過ごして、段々ぶつかって成長してきました。キムさんはいつも前に向けて、積極的に進む人だと思います。私も日本に来てから、最初には文化ショックで、アルバイトをしているとき、精神的にも肉体的にも疲れたこともありますがつらい日々を乗り越えて、大きくなりました。キムさんはよく頑張って、日本に来た夢を実現できました、非常に素晴らしいと思います。自分ももっと、頑張らないとキムさんに負けちゃうという考えがありますが、むしろ、自分の人生に負けないという頑固な考え方も頭に浮かんできました。自分の人生だから、自分で決めないといけないし、これから人生は良くなるのか、または落ち込むのかを全部自分の手で決めて後に後悔しないように頑張らしましょう。

#### 5. 授業を終えて

##### 5.1 今あなたは文化、コミュニケーションについてどう思う？

多文化コミュニケーションの授業を通じて、私にとって多文化とは国と国の間ではなくて、人と人です。人は生まれてから、違う環境で育てて、文化が違います。同じ環境で生まれて、育てても違う文化を受けることもあります。人間はこの世にたった一人しかいません。例えば、私と全く同じ人間がいないと思います。文化、コミュニケーションは人の日常生活・性格・人のものから形成したものです。だから、違う人に対して違う文化を持っていると思うので、良い文化と悪い文化の基準は存在しないとおもいます。ただ、自分で決めたこと、自分で毎日やることは文化になります。コミュニケーションは言葉を伝えることだけではなく、心を伝えることもできると思います。

##### 5.2 良かった点、難しい点

私は文化・コミュニケーションについて自分の考え方が伝えられたとおもいます。特にキムさんと話し合っ、彼のことを少しでも理解できたと思います。自分のことも少し振り返ることもできました。今まで、自分の悪い点良い点をわかって進みたいと思います。

しかし、日本語で表現するのが難しいと思います。文法的にも意味的にも伝えるにくいこともあります。そして、自分の感想を書くのが難しいです。また、相手に自分と比較するのは大変だと思います。